

国家公務員の年次休暇の使用実態（令和6年）

令和7年8月
人事院職員福祉局職員福祉課

【調査概要】

- 「令和7年国家公務員給与等実態調査」（人事院）から作成
- 対象期間：令和6年1月～令和6年12月
- 対象職員：237,289人
対象職員は令和7年1月15日現在に在職する給与法等の適用を受ける常勤職員。
ただし、以下の職員は除く。
 - ① 在外公館に勤務する職員、休職者、派遣職員のうち専ら派遣先の業務に従事する職員、育児休業中の職員、育児短時間勤務職員、自己啓発等休業中の職員、配偶者同行休業中の職員及び1年以内の任期を限って任用された者
 - ② 令和6年1月2日以降に採用された職員（地方公務員等との人事交流により採用された職員を含む。）
 - ③ 令和6年1月1日から令和6年12月31日までの間に以下の職員である期間があった職員
 - ・ 休職、育児休業等の定員外職員
 - ・ 育児短時間勤務等職員

※ 組織区分は、令和7年1月15日時点で在職していた組織区分に基づき分類

【調査結果】

年次休暇の平均使用日数

令和6年の平均使用日数は、全体平均で16.3日であり、前回調査（令和5年）に比して0.1日増加している。

組織区分別では、本府省において増減がなく、本府省以外において0.1日増加している。

表 組織区分別平均使用日数

組織区分別	令和6年	
		(令和5年)
計	16.3	16.2
本府省	14.4	14.4
本府省以外	16.7	16.6

以 上